

7月27日、客船飛鳥IIが大船渡へ寄港します！

7/27(水) 10:30、客船飛鳥IIが大船渡野々田埠頭に入港します。出港は翌日の7/28。
7/18(月) 横浜出港～函館～小樽～利尻～網走～釧路を経て入港し、横浜に戻ります。

6/25(土)、県立福祉の里センター交流広場に於いて、郵船クルーズ株式会社社員有志による大船渡支援イベント「飛鳥IIスタッフとのふれあいフェスティバル」が開催されました。これからの大船渡を担う子供たちのために、ひとときの間でも笑顔届けたい、また、少しでも大船渡の元気に繋がればと企画。



乗組員からのメッセージヒマワリの花

『“自分たちにも何かできないか” 社内で検討し開催にいたりました。』

当日は現役乗組員やスタッフやOBなどの有志 28 名がイベントを運営。業務のためどうしても来られなかった乗組員の想いも背負って、お越し頂いたみなさんとの親睦交流を行いました。スタッフの高宮さんは『大船渡へは毎年寄港させていただいています。そのたびにいつも大変歓迎してくださり、その度に私たちは大船渡の方々からたくさんの笑顔ももらってきました。今度は、私たちが大船渡のみなさんに笑顔をお返ししたいと思い、今回のようなイベントを開催しました。』とコメント。

当日は天候にも恵まれ、たくさんの方が来場されました。

折り紙や短冊で七夕飾りをつくるコーナーや、輪投げ、駄菓子コーナー、フラダンス教室。紙飛行機教室では、大人たちも童心にかえり“よく飛ぶ飛行機”のつくりかたを研究しながら競争して楽しまれ、ステージでは“みんなで笑おうジェスチャータイム”とASUKAクイズを開催。子供たちの笑い声が絶えまなく響きたわり、大人たちもまた、そんな笑顔の子供たちの姿に微笑ましく見守られていた姿が印象的でした。

来月 27 日の寄港がますます楽しみですね。



短冊に願いをこめて



お花の形のバルーンアート



風船に空気を入れるの楽しいな



大人達はフラダンス♪

津波で流出、ガレキの撤去などで見つかったアルバムや写真、 思い出の品々を洗浄して展示し、お返しする運動が各地で行われています。

思い出探しに、みなさんも来てみませんか。展示日時・場所などは下記のとおりです。

【陸前高田市】

▼ 市民の森 [杉の家はこね]前の駐車場 (陸前高田市小友町字茗荷)

(※場所が下記に変更になることがあります)

→上記の場所から徒歩5分程の[市民の森・気仙大工左官伝承館]

- ・日時：毎週 土曜日・日曜日 10:00～15:00 (平日は洗浄作業のため展示はありません)
- ・管理・運営・協力：NPO みんつな、まるごとアーカイブプロジェクト
ボランティアのみなさん、陸前高田市

【大船渡市】

▼ 大船渡市Y・S(ユース&シルバー)センター (大船渡市立根町)

- ・日時：月曜日を除く毎日 9:00～21:00 (YSセンターの開館時間に準ずる)
- ・運営：大船渡市社会福祉協議会

▼ 思い出ハウス、思い出ハウス2 (大船渡市大船渡町野々田 26)

[※但し、こちらにあるものは洗浄前のものが殆どです]

- ・日時：平日 8:30～17:00
- ・施設管理：大船渡市
- ・運営・協力：大船渡市社会福祉協議会、ボランティアのみなさん

▼その他、各地区公民館にも一部保管されているようです



YSセンター展示会場



雨の中でも根気よく



思い出ハウス保管場所



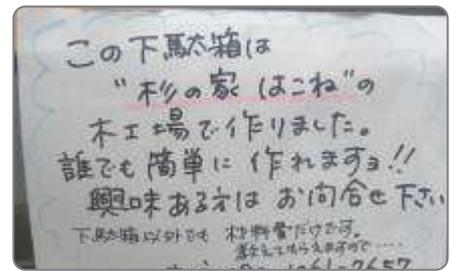
知人を見つけることも

6/26(日)は、あいにくの雨模様。陸前高田での展示会場ではテントが張られ、所せましと並べられた思い出の品々との対面を願いながら、訪れた方々はひとつひとつ丁寧に探しておられました。自分のものが見つからなくても、知る顔を見つけると我が事のように喜ばれ『渡してあげたいから持って帰ってもよいか?』と尋ねる一幕も。

NPO みんつなの加藤さんは、『“思い出の品々との再会”だけでなく、“人と人との再会”も目的として展示活動を行っています。震災から100日以上経った今でも、知人と再会できない、安否がわからなかった方同士が、こういった場を通じて再会するシーンを何度も見ました。今後も継続して毎週土日の展示は続けていきたいです。』とコメント。他にも子供向けの写真教室や、被災した地元の写真館の代わりに、入学式の撮影などプロカメラマンなど集め陸前高田市内全校の撮影を行ったそうです。

“仮設住宅で見い～つけた！”

大船渡中学校グラウンドにある138戸の仮設住宅。あるお宅の玄関には木製の下駄箱が置かれており、そこには写真のような貼り紙が。このお宅のSさんにお話を伺ったところ『施設使用料300円+材料費のみで女性でも簡単に作れます。子供の工作のような感じで作れました』とのこと。下駄箱のみならず、木で作れるものなら郵便受けや棚など色々なものが作れるそうです。作り方指導もして下さるそうです。



【杉の家 はこね】は公営施設。場所は、陸前高田市小友町字茗荷1-1
利用時間は9:00～15:00で、水曜日は休館です。TEL:0192-56-2153



プランターで育つ野菜の姿も見られました。野菜や花を育てたりすることで土に触れますよね。土いじりには、様々な効果があるといわれています。ストレス発散、癒し効果、うつ病予防、認知症予防等々。野菜嫌いなお子さんが野菜を育てた場合、生育していく達成感などから野菜を食べるようになった、という話も。まずはプランターで、プチ農業を始めてみませんか？

仮設住宅隣りにスーパーマーケット — 陸前高田市小友町字瀬沢 —

陸前高田オートキャンプ場モビリア避難所の皆さんが、隣接する仮設住宅へ移られたのはつい先日のこと。このモビリアの敷地内に、イオンスーパーセンター・出張販売所が6月10日にオープンし、すでに営業を始めています。取り扱い商品は、肉・魚・野菜などの生鮮食品、お菓子、アルコール飲料、果物、乾物、生活雑貨、調理用品、文具、寝具、衣料品など幅広い。



マネージャーの蓑原さんは『店頭にはない商品は、個別に取り寄せも可能で翌日には入手可能です。1個単位でも大丈夫ですよ。』とコメント。今後は、陸前高田市内34のすべての仮設住宅に巡回しながら移動販売を展開していく考えで、現在、一部の仮設住宅での販売をスタートさせています。今後、地域のコミュニティーになるといいですね。



6/14(火)に三陸中部森林管理署前の道路脇花壇にまいたヒマワリの種。先日(6/25(土))様子を見に行ってみると…！きれいな緑色した芽が、土から顔を出していました！津波で海水に浸り、ヘドロにまみれたまま乾燥して硬くなった土を耕したのは10日程前のこと。この芽が出てくれたことが嬉しくてうれしくてたまりません。今後もあたたかくこのヒマワリの成長を見守っていきたいと思っています。みなさんもヒマワリの成長を応援してくださいと嬉しいです。



連絡会からのお知らせ



気仙市民復興連絡会では気仙地域における活動団体等の情報収集・発信(助成金情報提供等)を行っていきます。情報を発信したい等、相談等の窓口としてお気軽にご利用下さい。

広報活動のお手伝い(取材)も行かせていただきます。お気軽に広報担当までお尋ねください。

◆ 本紙(復興ニュース)の入手方法についてのご案内 ◆

発行は毎週火曜・金曜日です。配布(掲示)場所は下記のとおりです。(6/28 現在)
御協力いただいている店舗さま・関係者各位さま、いつもありがとうございます。

【復興ニュース配布場所】(順不同・敬称略)

(陸前高田市)

- ・モビリア仮設住宅(下)全 60 戸
- ・マイヤ米崎出張販売所・相野果樹園跡(レジ横)

(大船渡市)

- ・カメラアホール[大船渡市盛町](1 階ホール)
- ・大船渡地区合同庁舎(1 階売店)
- ・薬王堂 大船渡盛店(レジ裏お知らせコーナー)
- ・マイヤ 大船渡インター店(レジ後方ガラス窓沿いのカウンター))
- ・YS センター(情報コーナー)
- ・喫茶・ロリアン[大船渡市盛町]
- ・ダイマル店頭[大船渡市盛町商店街]
- ・地ノ森仮設住宅
- ・大船渡市役所([受付]から左に進んだ左手棚)
- ・サン・リア(インフォメーションカウンター)
- ・薬王堂 大船渡店(レジ横カウンター)
- ・福祉の里(情報コーナー、1 階ロビー)
- ・リアスホール[大船渡市](警察官詰め所横)
- ・佐々木荒物店レジ横[大船渡市盛町商店街]
- ・蛸の浦小学校仮設住宅

陸前高田市エリアの配布が現時点でまだ少ないですが、順次増やしていきます。
その他の仮設住宅などにも順次ポスティング配布していきます。

購読希望の方、配布・設置にご協力くださる店舗さまや団体さまは、

気仙市民復興連絡会事務所(大船渡市末崎町 tel&fax 0192-47-3271

または連絡会事務局広報(080-2801-5352・山口)まで「復興ニュースの件で」とお問合せください。

尚、バックナンバーの御希望もお気軽にお問い合わせください。

[復興ニュース]第 26 号 2011.6.28.

発行 : 気仙市民復興連絡会

Tel&Fax 0192-47-3271

Tel: 080-2801-5352

kesenshimin.f.r@gmail.com

<http://kesen-chiku.ecom-plat.jp>